

2022 年度
第 5 回理事会議事録

日 時 2022 年 7 月 16 日（土）13 時 30 分～15 時 55 分
場 所 ハイブリッド会議（「Zoom」利用）
出 席 森野会長，下江*・下澤・奥村副会長，松井専務理事（※），大西（尚）・大西（清）・
河西・石川・榎・片岡・松尾（博）常務理事，西澤・松尾（章）・高橋理事
（理事 15 名中 15 名出席）
伊集院・秋山*監事（監事 2 名中 2 名出席）

<※印：進行、*印：WEB 出席>

WEB システムを使用したハイブリッド会議を行うにあたり，WEB 出席者の音声，画像が即時に他の出席者に伝わり，出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたので，議長は開会を宣し，理事会の議事進行を松井専務理事に委任して本理事会が開催された。

【 議 事 内 容 】

1 会長挨拶

会長就任にあたっての所信，新執行部発足に伴う心構え，日本歯科技工士会と日本歯科技工士連盟の連携，組織拡充を念頭とした会務運営等について挨拶があった。

2 議 案

(1) 全 般

ア 日本歯科技工士会業務執行理事（副会長，専務理事及び常務理事）の選定について，挙手 15 名により全会一致で承認した。

イ 2022 年度・2023 年度各種委員会の設置について，挙手 15 名により全会一致で承認した。

ウ 2022 年度第 3 回及び第 4 回理事会議事録（案）について，挙手 15 名により全会一致で承認した。

エ 会務の確認及び担当役員を決定し，挙手 15 名により全会一致で承認した。

オ 厚生労働省及び外部団体役員等へ就任する担当役員について，挙手 15 名により全会一致で承認した。

3 報告・協議事項

定款第 26 条第 3 項に基づき，会長・業務執行理事等から以下の報告等があった。

(1) 全 般

ア 厚生労働省及び関係団体への新役員就任挨拶について報告があった（松井専務理事）。

イ 日本歯科技工士会と日本歯科技工士連盟が密に連携を図り会務運営を行っていくため，「本会・連盟役員連絡協議会」を設置する旨の報告があった（森野会長）。

ウ 2022 年度理事会等の日程及び WEB を活用した会議開催の推進について報告があった（森野会長）。

エ 2022 年度事業計画の内容について説明があり，計画に沿った事業推進への依頼がされた（森野会長）。

オ ニチギデータセンター新役員の構成等について報告があった（奥村副会長）。

(2) 事業推進

ア 2022 年 7 月の歯科用貴金属材料価格随時改定の内容等について報告があった（松井専務理事）。

(3) 法人運営

ア 石川県及び熊本県を震源とする地震に伴う会員被災状況の把握及び全国各地で発生する災害への地域組織と連携した対応等について報告があった（森野会長）。

(4) 組織対策

ア 2022 年 6 月度会員数等に関する動向について報告があった（片岡常務理事）。

(5) 教育研修

ア 2022 年度歯科技工士生涯研修開催・参加状

況及び認可状況について報告があった（石川常務理事）。

イ 2022年度感染症予防歯科技工士講習会の実施要領について報告があった（石川常務理事）。

(6) 国際交流

ア 公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）との共催事業の推進について報告があった（石川常務理事，西澤理事）

(7) 広報企画

ア 10月8日（入れ歯感謝デー）での発表へ向けて「ははは川柳」の募集を開始した旨報告があった（榎常務理事）。

(8) 歯科技工所管理

ア 歯科技工におけるリモートワークに関する歯科技工士法施行規則一部改正の内容等について報告があった（下澤副会長，片岡常務理事）。

(9) 歯科技工士労務対策

ア 書面による労働契約が円滑に進むための検討課題等について報告があった（奥村副会長，松尾常務理事）。

(10) その他

ア 任期当初にあたり，各役員から会務運営への抱負等が述べられた（全役員）。

イ クラウド型グループウェアを使用した会務運営，会務運営上使用する用語の統一等について報告があった（森野会長，松井専務理事）。

ウ 新役員体制での会務遂行への期待，日本歯科技工士会と日本歯科技工士連盟との連携の必要性等について監事所見があった（伊集院監事，秋山監事）。

以 上

以上をもって本日のWEBシステムを用いたハイブリッド会議による理事会は，終始異状なくすべての議事が終了したので，議長は閉会を宣し散会した。